

鹿児島高専 数理・データサイエンス・AI教育プログラム リテラシーレベル・応用基礎レベル 取組概要

(鹿児島高専 数理・データサイエンス・AI教育プログラムの実施に関する規則 第2条)

本プログラムは、情報技術が進む社会で必要となる数理・データサイエンス・AIの基礎的素養及び自らの専門分野において応用・活用することができる応用基礎力を全ての学生に対して修得させることを目的とする。

目的

・早期のAI教育

☞低学年からAI教育を実施

・ICTを活用した授業及び学生支援

☞Wi-Fi環境の充実
☞貸出パソコンの強化
☞学修支援システム
(ムードル)の活用

・サイバーセキュリティ教育

☞警察と連携した教育
☞持続可能なボランティア活動

特色

・デジタル社会の「読み・書き・そろばん」である数理・データサイエンス・AIの基礎的素養及び応用基礎力を身につける。

・数理データサイエンスとAIの知識を活用し、地域が抱える社会問題を解決できる学生の育成を目指す。

・数理データサイエンスとAIの知識を活用し、相手の立場に立ってものを考える学生の育成を目指す。

育成したい人材

リテラシー・応用基礎レベル

機械・電気電子・電子制御・情報・都市環境デザイン 工学科

運営・改善

・教務委員会

・内部質保証委員会

・授業担当教員
・授業アンケート

点検・評価

魅力的な
授業

鹿児島工業高等専門学校